

2018 年度事業実施報告

1. 人材開発・養成事業

(1) 人材スキルアップ定期コース（7月・10月・2月）

今年度は、7月期は、「座学と職場見学会コース（短期間）」、10月期は、「座学と職場実習コース（2週間程度）」、2月期は、「障がい者を対象とした座学と職場実習コース」を実施しました。また、講座において企業の人事担当者や人権担当者をお招きし、より実践的な講義内容を取り入れています。

7月期（職場見学会コース）は、7月23日～7月27日に実施し、エントリー会員は4会員、内2会員で実施しました。受講者は9名（5名修了）であり、内1名が就職しました。

10月期（職場実習コース）は、10月23日～11月12日に実施し、エントリー会員は11会員、内6会員で実施しました。受講者は8名（6名修了）であり、内1名が就職しました。

2月期（障がい者対象コース）は、2019年2月19日～3月11日に実施し、エントリー会員7会員、内4会員で実施しました。受講者5名（5名修了）であり、内3名が就職しました。

合計エントリー会員は、のべ22会員、実施会員は12会員、受講者は22名（前年度比8名減）で修了者は16名（同6名減）でした。修了者のうち会員内外へ就職した人は5名（同5名減）となりました。

(2) 人材スキルアップ随時コース

人材スキルアップ随時コースは、時期を限定せず、エントリーいただいた事業所に職場実習をお願いするものです。

今年度は、14会員で実施（対前年度比5会員増）していただき、21名受講修了（同9名増）しました。修了者21名の内11名（同4名増）の方が実習先に就職しました。

(3) 大阪府域支援学校との連携

大阪府域の支援学校等から障がいのある生徒に対して雇用や職場実習の提供をお願いしました。その結果、職場実習については、67会員（前年度1会員減）で、284名（同19名増）受け入れていただきました。また、雇用については、39会員（同1会員増）で、81名（前年同数）の方が職場実習を通じて雇用につながりました。C-STEP内において、模擬職場実習を行いました。21校（同1校増）、58名（前年同数）の参加があり、生徒の適性や興味関心などの把握と職場実習前の基礎講習を行いました。

夏休み期間を活用し、Aワーク創造館（大阪地域職業センター）を会場として、「ビジネスマナー中級講座」を実施しました。中級のみ10コースとしたため、修了者は20校91名（同55名減）になりました。また、「ビジネスマナー講座見学会」も前年度に引き続き実施し、25企業（同6会員増）から29名（同6名増）の参加がありました。

2. 就職マッチング事業

(1) 就職マッチングへのエントリーと職場見学会

各市町村地域就労支援センターで一定のスキルを経た推薦者に対して、大阪府と C-STEP 事務局が 57 名の方にヒアリング（前年度比 12 名増）を実施し、就職マッチングエントリー者として仮登録しました。エントリー数は 4 年ぶりに増加しました。近年活用がない地域就労支援センターを訪問し、C-STEP 事業の説明に加えて、相談事業の状況について意見交換したことで増加につながりました。エントリー者の実情においては、就労困難事由が重層的であるものや緊急性を要するものが増加しており、より困難事例が増えています。

求人（雇用）情報カードを提出していただいた会員の協力の下に、職場見学（実習）を実施し、雇用促進を実施しました。対象者は、前述の就職マッチングエントリー者で求人（雇用）情報カード 58 件（前年度比 30 件増）に対して職場見学を 38 回（同 10 回増）開催し、19 名（同 2 名減）の方々が就職しました。求人開拓のための訪問を強化しており、職場見学、職場実習は増加しています。

(2) 会員訪問

雇用・就労に向けた「求人（雇用）情報カード」の提出や支援学校等生徒の職場実習受入の要請、就職者の状況把握と定着支援、各事業所での課題解決、新規会員紹介等々、意見交換のため会員訪問を実施しています。

今年度は、1,120 回（前年 1,138 回）の会員訪問を行いました。昨年度から、地域別に担当者を決めて訪問活動を行なっています。

(3) 在職者の職場適応

定着支援として、331 事業所（前年度 263 事業所）の会員の訪問を行い、それぞれの課題に合わせた支援活動を行いました。障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所など定着支援に携わる支援者とも連携しています。訪問活動で把握した在職者の課題については、問題が先鋭化することを未然に防ぐため、定例のケース会議で情報の共有と支援方策の検討を行っています。その結果、3 カ月の定着率は、就労困難者 95%、支援学校等生徒 100% となりました。

(4) 会員貢献度評価顕彰

就職困難者等の就労支援を通じて人権課題に積極的に取り組み、社会に貢献している会員を評価・顕彰する、「第 12 期会員貢献度評価顕彰制度」は、1 年間の評価期間で実施しました。受賞企業の選出にあたっては、外部委員による「評価顕彰システム検討委員会」が 4 月 23 日に開催され、エントリーされた 439 会員の中から、就職マッチング賞 15 会員、人材開発養成貢献賞 27 会員、会員貢献賞 9 会員が厳選な審議の中で決定されました。感謝状の贈呈は、「2019 年度 C-STEP 通常総会」で行います。

【第12期評価・顕彰システム検討委員会委員】

奥田 均	近畿大学人権問題研究所特任教授
柴田 昌幸	大阪府商工労働部雇用推進室就業促進課課長
中山 忠行	大阪市市民局ダイバーシティ推進室雇用・勤労施策課長
内海 義春	大阪企業人権協議会事務局顧問
華崎 正英	元大阪府商工労働部労働政策監

3. 情報発信・研究開発事業

(1) 広報・情報提供

C-STEP ニュースを年4回（6月・9月・12月・翌3月）発行しました。編集会議の定期開催により、会員情報（就職者の声）や各種事業情報の充実と見やすい紙面作りに努めました。配布先も就労移行支援事業所や障害者就業・生活支援センター、地域人権協会などへ拡大しています。

C-STEP ホームページでは、雇用・就労に関する身近な情報や C-STEP ニュースで詳細に紹介できなかった内容について適時更新しています。

(2) 雇用問題研究会

雇用や環境、人権に関して先進的な取り組みや国内外の動向等について、研究と啓発活動を行なっています。今年度は、次のとおり実施しました。

テーマ：SDGs と企業 ～誰もが活躍できる未来にするために～

主催：一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター

後援：大阪労働局、大阪府、大阪市、関経連、大阪商工会議所、マスコミ5社

日時：2019年1月29日（火）午後2時～

場所：大阪市東成区民センター大ホール

参加者：143 会員、4 市町村、6 団体から計 173 人

プログラム

(1部) 基調講演「SDGs と人権 ～企業としてどう取り組むか～」

講師 松岡秀紀（アジア・太平洋人権情報センター）

(2部) 報告

①企業からの取り組み報告

大山健吾（大和ハウス工業㈱CSR 部人権啓発室長）

②取り組みを推進するために～ゲームを通じて SDGs を学ぶ～

NPO 法人イー・ビーイング他

(3) 人と仕事をつなぐ企業の集い

主に企業の人事担当者、人権担当者と就労支援窓口、教育機関等との連携を図るため、実行委員会を結成し、事業実施しています。今年度は次のとおり実施しました。

テーマ：障がい者雇用と定着を進めるために ～ともに話し合う支援の改善～

主催：人と仕事をつなぐ企業の集い 2018 実行委員会

(大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター)

後援：大阪労働局

日時：2018年9月10日(月)午後1時30分～

場所：NTT西日本研修センタ本館

参加者：62 会員、1 市、14 学校、9 団体から計 106 人

プログラム

(1部) 企業からの事例紹介・見学会 (株)NTT西日本ルセント

(2部) 参加者による意見交換会 ファシリテーター：松波めぐみ

(4) 会員情報の収集

会員から毎年度提出していただく会社概要届並びに市町村会員連絡票の内容に基づき、最新の状況把握に努めました。2016年度より「概況届」の簡略化と改良を進め、今年度、提出数は、716 企業・36 市町村(収集率は 79.2%、前年度比 7.7%増)となりました。また、事業アンケートの集約により、ニーズの把握と事業の企画立案に活用しています。

4. ネットワーク構築等事業

(1) 地域就労支援センターとの連携

就職困難者の人材開発・養成に関わることや、C-STEP 事業の活用促進を図るため、大阪府・市町村就労支援事業推進協議会と連携し、ブロック別会議や各市の地域就労支援センターへの参加、意見交換、訪問等を実施しました。その結果、岸和田市では、産業政策課支援事業と連携し、昨年度に引き続き「障害者就職模擬面接会」を開催し 6 名の参加がありました。また、泉州北障害者就業・生活支援センターが主催する「就活セミナー」に協力し、ビジネスマナーや働くうえでの心構え講座を開催しました。柏原市においては生活困窮者自立支援事業と連携した就労支援事業が拡大しています。今後も求職者のエントリーに加えて、様々な事業の企画運営に協力してまいります。

(2) (一財)大阪府人権協会との連携

2014 年度より大阪府人権協会と共同体を組み「大阪府就職困難者就労支援事業」を実施しています。府下の市町村人権協会・人権地域協議会へ訪問し、就労相談の掘り起しと各市町村地域就労支援センターへの誘導を行っています。その結果、新たに C-STEP 事業を活用したり、各種啓発事業に参加する市町村が増加しています。

(3) (一社) ヒューマンワークアソシエーション (B サポ) との連携

B サポは、地域の活性化と主に就職困難層の生活と就労を支援することを目的に活動しています。今年度は、一部市町村の生活困窮者支援事業や守口市の地域就労支援センター事業を担うなど活動エリアも拡大してきました。引き続きネットワークづくりなど連携支援を図ります。

(4) 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構 (A´ LLP)、A´ ワーク創造館との連携

前述の支援学校等生徒を対象とした「ビジネスマナー講座」の共同開催や雇用問題研究会等啓発事業でのコーディネートなど連携実施しました。また、A´ ワーク創造館が実施する各種事業について広報や誘導を行うなど連携を強化しています。大阪府大阪市をはじめ各市町村が公募する就労支援事業の受託についても支援協力しています。

5. その他事業

(1) C-STEP の加入勧奨

2015 年度に結成した「会員拡大プロジェクトチーム」活動を継続実施してきました。C-STEP の友好団体であります、大阪同和・人権問題企業連絡会、部落解放大阪府企業連合会、公正採用人権啓発推進センターをはじめ、関西経済連合会、大阪商工会議所など各種団体にも積極的に加入促進の依頼を行なってきました。

(2) 平和・人権・福祉にとりくむ活動への協力

C-STEP の目的である「すべての人権が尊重される豊かな社会の実現に寄与する」(定款第 3 条)を実現するため、前述のネットワークに加え、世界人権宣言大阪連絡会議、同和問題解決・人権政策要求大阪実行委員会、えせ同和行為等根絶大阪連絡会議、NPO 法人ニューメディア人権機構、NPO 法人フードバンク OSAKA、(一財) アジア・太平洋人権情報センター等々「平和・人権・福祉」の取り組みに積極参加してきました。

(3) 就職者「熱と光の会」の支援

職場定着の一環として、C-STEP の就職者でつくる親睦組織である「熱と光の会」の支援を行いました。今年度も、総会と役員会(6回)を開催し、会報の発行(4回)と春の経験交流会の企画実施、AIAI フェスタへの参加について企画実施しました。また、就職者激励会にも参加し、新年度就職者に「熱と光の会」への勧誘を行ないました。